

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月10日
【四半期会計期間】	第13期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)
【会社名】	株式会社ミクシィ
【英訳名】	mixi, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 笠原 健治
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号 住友不動産渋谷ファーストタワー
【電話番号】	(03)5738-5900(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営推進本部長 小泉 文明
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区東一丁目2番20号 住友不動産渋谷ファーストタワー
【電話番号】	(03)5738-5900(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営推進本部長 小泉 文明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第12期 第2四半期 連結累計期間	第13期 第2四半期 連結累計期間	第12期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (百万円)	6,154	6,081	13,229
経常利益 (百万円)	1,583	708	2,989
四半期(当期)純利益 (百万円)	717	340	1,382
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	726	337	1,380
純資産額 (百万円)	15,170	14,307	15,999
総資産額 (百万円)	18,331	17,474	20,917
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4,636.83	2,258.34	8,933.89
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4,614.47	2,253.49	8,895.65
自己資本比率 (%)	82.7	81.7	75.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	1,217	291	2,599
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	171	1,755	854
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	94	1,905	101
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	10,610	7,339	11,293

回次	第12期 第2四半期 連結会計期間	第13期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1,564.12	1,297.85

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第12期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 会計方針の変更等(売上高の会計処理の変更)」に記載のとおり、従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売手数料及び販売促進費の一部について、第1四半期連結会計期間より、売上高から控除する方法(純額表示)に変更を行ったため、当該変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

2 【事業の内容】

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社(株式会社ミクシィ)、子会社4社及び関連会社9社により構成されており、ソーシャルネット事業、Find Job !事業を主たる業務としております。

当第2四半期連結累計期間における、各セグメントに係る主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は、概ね次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「インターネットメディア事業」及び「インターネット求人広告事業」は、それぞれ「ソーシャルネット事業」及び「Find Job !事業」にセグメント名称を変更いたしました。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)セグメント情報」をご参照ください。

<ソーシャルネット事業>

平成23年9月27日付で、株式会社ネイキッドテクノロジーの全株式を取得し、連結子会社としております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(企業結合等関係)」をご参照ください。

なお、主な事業内容の変更はありません。

<Find Job !事業>

第1四半期連結会計期間において、当社は、Find Job !事業(インターネット求人広告事業)を、新設分割により平成23年4月1日付で設立した株式会社ミクシィ・リクルートメントに承継させる会社分割を実施いたしました。

その結果、同日付をもって株式会社ミクシィ・リクルートメントは当社の連結子会社となりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	6,154	6,081	1.2%
営業利益(百万円)	1,689	850	49.7%
経常利益(百万円)	1,583	708	55.2%
四半期純利益(百万円)	717	340	52.5%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞や電力供給問題などにより依然として不透明な状況が続いています。

このような経済環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,081百万円（前年同四半期比1.2%減）となり、また、人件費等のコストが増加したため営業利益は850百万円（前年同四半期比49.7%減）となりました。

また、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 会計方針の変更等（売上高の会計処理の変更）」に記載のとおり、従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売手数料及び販売促進費の一部について、第1四半期連結会計期間より、売上高から控除する方法（純額表示）に変更いたしました。なお、当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間については遡及適用後の数値を記載しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「インターネットメディア事業」及び「インターネット求人広告事業」は、それぞれ「ソーシャルネット事業」及び「Find Job!事業」にセグメント名称を変更いたしました。事業実態により適したセグメント名称への変更であり、これによるセグメント情報に与える影響はありません。

ソーシャルネット事業

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	5,800	5,624	3.0%
広告売上高(百万円)	4,619	4,064	12.0%
課金売上高(百万円)	1,181	1,560	32.1%
セグメント利益(百万円)	2,282	1,701	25.5%
月間ログインユーザー数	1,446万人 (平成22年9月)	1,516万人 (平成23年9月)	-
コミュニケーション投稿数	約5億投稿数 (平成22年9月)	約8億投稿数 (平成23年9月)	-

ソーシャル・ネットワーキング サービス「mixi」におきましては、mixiのアクティビティを推進するために各デバイスのインターフェイスを改善し、順調にスマートフォンユーザーが拡大致しました。また、ソーシャルページ「mixiページ」をオーナー向けにオープンし、企業、アーティストページを含む約10万超のページが開設され順調に拡大しております。

収益面では、震災の影響による広告クライアントの出稿抑制やスマートフォンが普及していく中でモバイル広告の出稿減少により、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,624百万円（前年同四半期比3.0%減）となりました。また、セグメント利益は1,701百万円（前年同四半期比25.5%減）となりました。

Find Job !事業

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	353	456	29.1%
セグメント利益(百万円)	291	378	29.8%

Web系求人サイト「Find Job !」におきましては、Web系の求人情報に特化することにより他社との差別化を図ることで収益の拡大を目指して参りました。そのような中Web業界の求人動向は回復傾向にあり、収益面においても堅調に推移してきております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は456百万円（前年同四半期比29.1%増）、セグメント利益は378百万円（前年同四半期比29.8%増）となりました。

また、平成23年4月1日付で、当事業を会社分割により新設した株式会社ミクシィ・リクルートメントに承継させております。

(2) 財政状態の分析

財政状態

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、資産については流動資産が13,064百万円（前連結会計年度末比4,606百万円減少）となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少であります。固定資産は4,409百万円（前連結会計年度末比1,163百万円増加）となりました。主な要因としては、子会社株式取得に伴うのれんの計上及び投資有価証券の取得による増加であります。

負債については、流動負債が3,078百万円（前連結会計年度末比1,818百万円減少）となり、主な要因としては、未払金及び未払法人税等の支払いによる減少があげられます。固定負債は88百万円（前連結会計年度末比67百万円増加）となりました。純資産は14,307百万円（前連結会計年度末比1,692百万円減少）となり、主な要因としては、自己株式の取得があげられます。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は7,339百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は291百万円（前年同四半期は1,217百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が692百万円となったものの、法人税等1,236百万円を支払ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は1,755百万円（前年同四半期は171百万円の使用）となりました。これは主に、本社移転に伴う有形固定資産の取得、投資有価証券の取得及び子会社株式の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は1,905百万円（前年同四半期は94百万円の使用）となりました。これは主に、自己株式取得による支出1,753百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	528,000
計	528,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	155,106	155,106	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は単元株制度は採用しておりません。
計	155,106	155,106	-	-

(注) 「提出日現在発行数」の欄には、平成23年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日 (注)	12	155,106	0	3,765	0	3,735

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
笠原 健治	東京都渋谷区	85,476	55.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	東京都中央区晴海1丁目8-11	5,229	3.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	4,932	3.18
J.P. MORGAN CLEARING CORP-SEC (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	THREE CHASE METROTECH CENTER, BROOKLYN, NY 11245 (東京都品川区東品川2丁目3-14)	4,105	2.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	3,588	2.31
MORGAN STANLEY & CO. INTERNATIONAL PLC (常任代理人 モルガン・スタンレーMUFG証券 株式会社)	25 Cabot Square, Canary Wharf, London E14 4QA, U.K. (東京都渋谷区恵比寿4丁目20-3)	1,732	1.12
CACEIS BANK LUXEMBOURG-CLIENTACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	5, ALLEE SCHEFFER, L-2520 LUXEMBOURG (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	1,500	0.97
小割 洋一	千葉県館山市	1,000	0.64
野村信託銀行株式会社(投信口)	東京都千代田区大手町2丁目2-2	922	0.59
生田 将司	東京都新宿区	800	0.52
計		109,284	70.46

(注) 上記のほか、自己株式が6,000株(3.87%)あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 149,106	149,106	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	155,106	-	-
総株主の議決権	-	149,106	-

【自己株式等】

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社ミクシィ	東京都渋谷区東 一丁目2番20号	6,000	-	6,000	3.87
計	-	6,000	-	6,000	3.87

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,293	9,339
売掛金	3,659	3,380
その他	777	452
貸倒引当金	59	107
流動資産合計	17,671	13,064
固定資産		
有形固定資産		
建物	599	431
減価償却累計額	176	37
建物(純額)	422	394
工具、器具及び備品	2,561	2,716
減価償却累計額	1,511	1,638
工具、器具及び備品(純額)	1,050	1,077
有形固定資産合計	1,472	1,472
無形固定資産		
のれん	48	502
その他	262	262
無形固定資産合計	310	765
投資その他の資産		
その他	1,465	2,173
貸倒引当金	1	1
投資その他の資産合計	1,463	2,172
固定資産合計	3,246	4,409
資産合計	20,917	17,474
負債の部		
流動負債		
未払金	2,018	1,012
未払法人税等	1,281	406
預り金	1,380	1,472
賞与引当金	137	145
その他	80	41
流動負債合計	4,897	3,078
固定負債		
その他	20	88
固定負債合計	20	88
負債合計	4,918	3,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,765	3,765
資本剰余金	3,735	3,735
利益剰余金	8,361	8,547
自己株式	-	1,753
株主資本合計	15,862	14,295
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26	18
その他の包括利益累計額合計	26	18
新株予約権	13	30
少数株主持分	149	-
純資産合計	15,999	14,307
負債純資産合計	20,917	17,474

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,154	6,081
売上原価	1,997	2,037
売上総利益	4,156	4,043
販売費及び一般管理費	1 2,467	1 3,193
営業利益	1,689	850
営業外収益		
受取利息	10	4
投資事業組合運用益	-	8
その他	2	4
営業外収益合計	12	16
営業外費用		
持分法による投資損失	71	131
投資事業組合運用損	32	-
その他	14	25
営業外費用合計	119	157
経常利益	1,583	708
特別利益		
持分変動利益	4	-
特別利益合計	4	-
特別損失		
固定資産除却損	14	14
固定資産臨時償却費	98	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31	-
その他	-	1
特別損失合計	144	16
税金等調整前四半期純利益	1,443	692
法人税、住民税及び事業税	880	372
法人税等調整額	153	10
法人税等合計	726	362
少数株主損益調整前四半期純利益	717	329
少数株主損失()	-	10
四半期純利益	717	340

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	717	329
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8	8
その他の包括利益合計	8	8
四半期包括利益	726	337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	726	348
少数株主に係る四半期包括利益	-	10

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,443	692
減価償却費	227	307
のれん償却額	-	4
固定資産臨時償却費	98	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31	-
貸倒引当金の増減額（は減少）	18	48
賞与引当金の増減額（は減少）	53	8
受取利息及び受取配当金	10	4
支払利息	1	-
持分法による投資損益（は益）	71	131
投資事業組合運用損益（は益）	32	8
固定資産除却損	14	14
売上債権の増減額（は増加）	46	280
未払金の増減額（は減少）	509	628
その他	71	93
小計	1,498	940
利息の受取額	9	5
利息の支払額	1	-
法人税等の支払額	289	1,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,217	291
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	2,000	2,000
定期預金の払戻による収入	2,500	2,000
投資有価証券の分配による収入	-	34
有形固定資産の取得による支出	262	666
無形固定資産の取得による支出	17	43
投資有価証券の取得による支出	312	472
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	497
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	243
貸付けによる支出	20	-
貸付金の回収による収入	-	320
その他	59	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	171	1,755
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	7	0
自己株式の取得による支出	-	1,753
配当金の支払額	75	153
その他	26	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	94	1,905
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	1
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	947	3,953
現金及び現金同等物の期首残高	9,663	11,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,610	7,339

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(1)連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、当社は平成23年4月1日付で、会社分割(新設分割)を行い、新たに設立した株式会社ミクシィ・リクルートメントを連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において、株式会社ネイキッドテクノロジーは新たに株式を取得したため、連結の範囲に含め、株式会社トーチライト(旧株式会社ネクスパス)は平成23年7月19日付で株式の一部を譲渡し当社持分が減少したため、連結の範囲から除外しております。
(2)持分法適用の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、株式会社バスキュール号は新たに設立したため、株式会社アールシンクは新たに株式を取得したため、持分法適用の関連会社の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において、株式会社フレンゾは新たに設立したため、持分法適用の関連会社の範囲に含めております。株式会社トーチライト(旧株式会社ネクスパス)は株式の一部を譲渡し当社持分が減少したため、連結の範囲から除外し持分法適用の関連会社の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(売上高の会計処理の変更) 従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売手数料及び販売促進費の一部について、第1四半期連結会計期間から、売上高から控除する方法(純額表示)に変更いたしました。 当該会計処理の変更は、会計制度委員会研究報告第13号「我が国の収益認識に関する研究報告(中間報告)」の公表を契機に、第1四半期連結会計期間において広告枠の新たな販売形態の契約締結を開始することを踏まえ、広告取引の内容を全体的に再検討したところ、広告取引全般における取引価格の決定プロセスにおいては、広告掲載料が独立して決定されるものではなく、販売手数料及び販売促進費も取引価格を構成する要素として考慮した上で決定されており、実質的には販売手数料及び販売促進費が広告掲載料を構成する一部として捉えられることから、取引をより適切に反映するために行うものであります。 当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。 この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費はそれぞれ1,750百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響はありません。
(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。 なお、これによる影響はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
給与手当	628百万円	816百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) (平成22年9月30日現在)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) (平成23年9月30日現在)
現金及び預金勘定	12,610百万円	9,339百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	2,000百万円	2,000百万円
現金及び現金同等物	10,610百万円	7,339百万円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	77	500	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	155	1,000	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

当社は、第1四半期連結会計期間に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)において、買付を実施し自己株式を取得いたしました。

この結果、第1四半期連結会計期間において、自己株式は6,000株、1,753百万円増加し、当第2四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表における自己株式は1,753百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ソーシャルネット 事業	Find Job !事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,800	353	6,154	0	6,154
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,800	353	6,154	0	6,154
セグメント利益	2,282	291	2,574	885	1,689

(注) 1. セグメント利益の調整額 885百万円には、全社費用 815百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ソーシャルネット 事業	Find Job!事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,624	456	6,081	-	6,081
セグメント間の内部売上 高又は振替高	43	1	44	44	-
計	5,668	457	6,126	44	6,081
セグメント利益	1,701	378	2,080	1,230	850

(注) 1. セグメント利益の調整額 1,230百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメント名称の変更

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称について、セグメントの事業内容を明らかにするため、「インターネットメディア事業」を「ソーシャルネット事業」、「インターネット求人広告事業」を「Find Job!事業」へ変更しております。なお、事業実態により適したセグメント名称への変更であり、これによるセグメント情報に与える影響はありません。

4. 上海明希網絡科技有限公司及び上海蜜秀網絡科技有限公司については、従来、報告セグメントに含めておりませんでしたが、事業形態の変更に伴い、第1四半期連結会計期間より「ソーシャルネット事業」に区分変更しております。

5. 「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 会計方針の変更等（売上高の会計処理の変更）」に記載のとおり、従来、販売費及び一般管理費に計上していた販売手数料及び販売促進費の一部について、第1四半期連結会計期間より、売上高から控除する方法（純額表示）に変更いたしました。この結果、遡及適用を行う前と比べて、ソーシャルネット事業の前第2四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費はそれぞれ1,750百万円減少しておりますが、セグメント利益への影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「ソーシャルネット事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間に株式会社ネイキッドテクノロジーの株式を取得し、新たに連結子会社としたことに伴い、のれんが502百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間における当該事象によるのれんの償却額はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

取得による企業結合

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ネイキッドテクノロジー
事業の内容 携帯アプリ開発・管理フレームワーク「Colors」の提供
各種携帯アプリサービスの開発・提供

(2) 企業結合を行った主な理由

ソーシャル・ネットワーキング サービス「mixi」のサービス開発強化
人材・組織体制の強化

(3) 企業結合日

平成23年9月27日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式会社ネイキッドテクノロジーの全株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	500百万円
取得に直接要した費用 アドバイザリー費用等	1百万円
取得原価	501百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

502百万円

(2) 発生原因

取得原価が企業結合時の時価純資産額を上回ったことによるものです。

(3) 償却方法及び償却期間

3年間にわたる均等償却

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	4,636.83円	2,258.34円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	717	340
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	717	340
普通株式の期中平均株式数(株)	154,649	150,833
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	4,614.47円	2,253.49円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(株)	749	324
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	平成22年5月26日取締役会決議ストック・オプション(新株予約権) 普通株式 200株 行使価格 498,867円	平成23年5月18日取締役会決議ストック・オプション(新株予約権) 普通株式 370株 行使価格 314,862円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月8日

株式会社ミクシィ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中桐 光康 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 菊地 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミクシィの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミクシィ及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

会計方針の変更に記載されているとおり、会社は、従来販売費及び一般管理費に計上していた販売手数料及び販売促進費の一部を、売上高から控除する方法(純額処理)に変更している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。